【Ｒ１８】 会話形式ノベル（台本仕様）

『男子の身体測定は、

女子保健委員がする事になりました』

～会話と心の声～

作：七条右京

【登場人物】

・金目芽衣（かねめ　めい）：女子保健委員１

・宝来 流星（ほうらいりゅうせい） ：男子生徒１

今年から男子の身体測定は、女子保健委員が個別に念入りに行なう事になった。

女子保健委員の金目芽衣は、男子生徒の宝来流星の身体測定をする事になった。

超超恥ずかしがり屋の流星は、女のコの前で裸になるのが恥ずかしいと言ってなかなか脱がない。

それでもなんとか説得して、上半身裸になって貰ったが、パンツは絶対に見られたくないと言って、ズボンを脱がない流星。

はたして芽衣は、身体測定を無事に行なう事が出来るのか？

物語の前半は、脱がせるのに一苦労する芽衣だ

が、ある出来事がきっかけとなって、物語の後半は、芽衣優位で展開します。

そして、一苦労した仕返しに芽衣は、・・・。

〇保健室

　　制服姿で保健室に来た流星。

保健室の先生から、身体測定について説明を受けた流星。

金目芽衣：

「宝来君、私が担当するからよろしくね」

「それじゃぁ宝来君、制服を脱いで、パンツだ

けの裸になって頂戴」

宝来流星：

「ボク、金目さんの前で裸になるの恥ずかしくてやだ」

「脱ぐのやだ」

芽衣：

「ちょっと、なに女子みたいな事言ってるのよ」

「男なんだから、別に裸になったっていいじゃないの？」

「なにが恥ずかしいのよ」

流星：

「男だって恥ずかしいのは、恥ずかしいんだから」

「脱ぐのやだ」

芽衣：

「困ったわね」

「あんまり私の事、困らせないでよ」

「それじゃぁ、身体測定出来ないじゃないのよ」

「どうするの？」

流星：

「ボク、身体測定なんかしなくてもいい」

「帰る」

芽衣：

「それじゃぁ、私が困るのよ」

「ねぇ、お願いだから」

芽衣・心の声：

『もうイライラするわね』

『どうして脱いでくれないのよ』

『ぶん殴ってやりたいところだけど、暴力は駄目よね』

『なんとか説得しないと』

『落ち着け、芽衣』

『頑張れ、芽衣』